

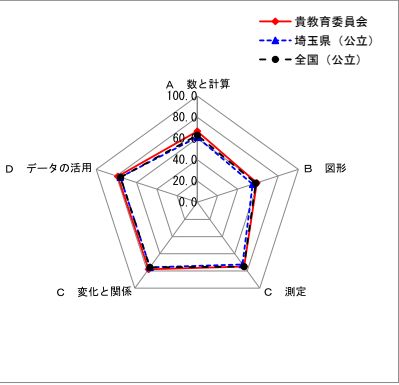
・以下の集計値／グラフは、５月２７日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		三郷市教育委員会		埼玉県（公立）	全国（公立）
		1,091		59,119	994,101
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）
全体		16	73	69	70.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	4	66.8	61.2	63.1
	B 図形	3	58.9	54.8	57.9
	C 測定	3	74.9	72.5	74.8
	C 変化と関係	3	78.1	75.8	75.9
	D データの活用	5	78.7	76.2	76.0
評価の観点	知識・技能	9	76.1	73.3	74.1
	思考・判断・表現	7	67.9	63.9	65.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	77.5	76.0	76.0
	短答式	6	78.2	74.6	75.8
	記述式	4	56.6	50.7	53.0

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率（％）			無解答率（％）		
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）
1（１）	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	1 (2) ア(ア) イ(イ) ※			2 (1) ア(ア)			○				○	65.4	58.2	62.5	0.6	1.9	1.7
1（２）	500mを歩くのに7分かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる				5 (1) イ(ア) 5 (2) イ(ア)			○			○		88.2	87.4	86.7	0.7	1.8	1.7
1（３）	㊦と㊧の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	速さを求める除法の式と商の意味を理解している				5 (2) ア(ア)		○			○			58.8	55.7	55.8	0.5	1.6	1.4
1（４）	午後１時３５分から５０分後の時刻を書く	条件に合う時刻を求めることができる				3 (2) ア(ア)		○				○		89.1	88.5	89.2	0.1	0.8	0.7
1（５）	分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く	速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる				5 (2) ア(ア)		○				○		87.2	84.4	85.1	0.7	1.7	1.5
2（１）	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している		5 (3) ア(ア)				○				○		57.0	48.7	55.1	0.7	1.7	1.6
2（２）	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる		5 (3) ア(ア)	1 (1) ア(イ)			○				○		70.0	70.8	72.5	0.4	1.1	1.0
2（３）	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる		5 (3) ア(ア) ※				○				○		49.6	45.0	46.0	2.7	4.8	4.6
3（１）	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、数量を読み取ることができる					3 (1) ア(イ)	○			○			96.8	95.8	95.8	0.2	0.3	0.4
3（２）	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる					3 (1) ア(イ)	○			○			92.8	91.4	90.7	0.3	0.4	0.4
3（３）	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ	データを二次元の表に分類整理することができる					4 (1) ア(ア)	○			○			71.2	68.8	67.5	0.7	1.7	1.7
3（４）	帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる				5 (1) ア(ア) ※		○				○		57.6	51.4	52.0	4.7	10.6	10.3
3（５）	5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる				5 (1) ア(イ) ※		○			○			75.2	73.8	73.9	0.9	1.4	1.3
4（１）	余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる	3 (4) ア(ア) ア(イ)					○				○		85.5	83.1	83.0	1.1	1.7	1.7
4（２）	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる	4 (4) ア(ア)					○				○		62.2	55.4	55.5	1.4	2.1	2.0
4（３）	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる	4 (4) ア(ア) ※					○				○		53.9	48.2	51.5	5.4	11.0	10.3

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等を見るために用いる知識及び技能を示している。